

【オリコンサルグローバル ハサヌディン大とMOA 離島の電化と水産業発展へ業務協力】



離島の電化と水産業発展へ業務協力  
オリコンサルグローバル  
ハサヌディン大とMOA  
オリエンタルコンサルタンツグローバルは、インドネシア南スラウェシ州の離島事業での業務協力に向けた合意文書（MOA）をハサヌディン大学と交わした。再生可能エネルギーを電源としたコールドチェーン設備の導入によって離島の電化と水産業の発展を促進する事業展開の最初のパイロット事業について、両者の協力事項を確認するもので、今年5月に結んだ包括的な協力に向けた覚書（MOU）に基づく最初の具体的な事業

の覚書となる。  
同社は、2008年から工学部整備事業に携わるなど、東部インドネシア最高学府である同大学と親密な関係を築いてきた。今回の離島事業は同社として初のESG（環境・社会・企業統治）投資案件であり、食料問題や水産資源の保護など、同国の離島が抱える諸課題を解決するものとして、大学からも同国に存在

する多数の離島への展開を期待する声が寄せられている。  
8月28日には、同国首都のジャカルタで同大学のジャマルディン・ジョンパ学長と米澤栄二社長が合意文書を取り交わした。写真。